

1 章 今^{いま}は…、日本^{にほん}に来^{くる}る前^{まえ}は…

☆ 助詞「は」を使って話しましょう。

18

< みんなで話しましょう >

A 日本^{にほん}に来^{くる}る前^{まえ}と今^{いま}とで、あなた^{あなた}の生活^{せいかつ}は変^かわりましたか。

(例) マリア： 今^{いま}は主婦^{しゅふ}ですけど、日本^{にほん}に来^{くる}る前^{まえ}はホテル^{はたら}で働^{はたら}いていました。

日本^{にほん}でも働^{はたら}きたいので、保育園^{ほいくえん}をさがしています。

劉^{りゅう}： ぼくは留^{りゅうがくせい}学生^{くせい}です。国^{くに}にいたときは何^{なに}もしなかったけど、

19

今^{いま}は、何^{なん}でも自分^{じぶん}ひとりです。

< 自分のことで話しましょう >

以前^{いぜん}と今^{いま}とで、あなた^{あなた}の生活^{せいかつ}は変^かわりましたか。

B 「～は～、～は～」を使^{つか}って、ちがいを言^いってみましょう。

20

1. (わたし^{わたし}の生^うまれたところ^{ところ}は) 10年前^{じゅうねんまえ}は、林^{はやし}や畑^{はたけ}がありましたが、

今^{いま}は、マンション^{マンション}がた^たくさん建^たっています。

2. (朝^{あさ}食^{しょく}は) 昔^{むかし}は家族^{かぞく}そろって食^くべたんですが、

21

最近^{さいきん}は、バラバラです。

3. (洗^{せんたく}濯^{たく}は) 今^{いま}は楽^{らく}になりました。みんな機^き械^{かい}がしますから。

22

昔^{むかし}は、手^てで洗^{あら}って、しぼって、干^ほしたんです。

4. (ぼく^{おね}の姉^{あね}は) 出^でかけるときはバッチリ決^きめていきます、

23

家^{いえ}にいるときはなにもしません。

2 章 一杯やるのが楽しみです

☆ 「の」を使って話しましょう。

2 4

< みんなで話しましょう >

A あなたが「体によくない」と思うのは、どんなことですか。

「一日中じっとしているのは、体によくないわ」

「たばこを吸いすぎるのは、体によくないわ」

「トイレをがまんするのは、体によくないわ」

B あなたは、日ごろなにが楽しみですか。

2 5

「帰って、一杯やるのが楽しみです」 「野菜を育てるのが楽しみです」

C あなたは、もの忘れをしますか。

2 6

「牛乳を買うのを忘れた」 「手紙を出すのを忘れた」

「アイロンを消すのを忘れたね」

D どちらのほうがいいか、質問しましょう。答えましょう。

2 7

(例) ☐ 映画にひとりでいきます ☐ 友だちと行きます

a : 映画に一人で行くのと、友だちと行くのと、どっちのほうがいい。

b : わたしは、一人で行くほうがいいな。

1. ☐ 料理をつくります ☐ あとかたづけをします

2 8

a : 料理をつくるのと、あとかたづけをするのと、どっちのほうがいい。

b : つくるほうがいいです。

2. ☐ 休みの日は、家でのもんぶりします ☐ あそびに出かけます。

2 9

a : 休みの日は、家でのもんぶりするのと、あそびにでかけるのと、

どっちのほうがいいですか。

b : 家でのもんぶりするほうがいいな。

1. a : お金^{かね}は、貯^ためるのと使^{つか}うのとどっちが好^すき? 30
 b : もちろん使^{つか}うほうよ。
 a : ためるのもいいと思^{おも}うけどなあ。 一人^{ひとり}でそつと通^{つう}帳^{ちやう}を見^みる
 のは、楽^{たの}しいよ。

2. a : ゆうべ、居^い酒^ざ屋^やに行^いったんですけどね、 31
 家^か族^{ぞく}連^づれが来^きていたんですよ。
 b : いけませんか。
 a : いや、いけな^いいとは言^いいませんがね。でも、夜^{よる}、あ^あい^いう場^ば所^{しょ}
 に小^ちさい子^こを連^づれて行^いくのを、どう思^{おも}いますか?

3. a : キムさん、おめでた? 32
 おめでとう。予^よ定^{てい}日^びはいつ。
 b : 5^ご月^{がつ}の初^{はじ}め。 国^{くに}で産^うみます。岡^り親^{やうしん}も、孫^{まご}の顔^{かお}を見^みるのを楽^{たの}し
 みにして^して^ているんです。

4. a : これ、うち^{うち}の畑^{はたけ}で採^とれた野^や菜^{さい}。 33
 b : わあ、すごいわね。
 a : 食^くべてみて。みかけはよ^よくないけど、味^{あじ}はいいのよ。無^む農^{のう}薬^{やく}だ
 から安^{あん}全^{ぜん}だし。
 b : あら、ありがとう。こ^こんなにた^たく^くさん、も^もら^らっ^てい^いいの?
 a : いいのよ。人^{ひと}にあげ^あげるのが楽^{たの}しみ^{しみ}な^なんだから。

5. a : 黄^{こう}さん、お忙^{いそが}し^しそう^{そう}です^すね。 34
 仕^し事^{ごと}して^{して}いる^るん^んです^すか。
 b : ええ、おば^{おば}の美^び容^{よう}院^{いん}を手^て伝^{でん}っ^てい^いる^るん^んです^す。今^{いま}はアルバ^あイト^いだ
 けど、将^{しょう}来^{らい}、自^じ分^{ぶん}の店^{みせ}を持^もつ^つのが夢^{ゆめ}なん^んです^す。

3章 食べ^た終^{おわ}ったら かたづけて

☆ 「たら」を使って話しましょう。

35

I A いつ、どうしますか。

1. (例) 食べ^た終^{おわ}ったら、かたづけて。
2. 使^{つか}ったら、また元^{もと}の場所^{ばしょ}にしまってね。
3. 読^よみ終^{おわ}ったら、本棚^{ほんだな}に戻^{もど}してね。
4. 遊^{あそ}んだら、かたづけてね。
5. 脱^ぬいだら、かごに入れて！

B 今でなくそのときにする、という気持^{きもち}ちで言^いいましょう。

36

1. (例) a : ねえ、買^かい物^{もの}に行^いってきて。
b : この番組^{ばんぐみ}が終^{おわ}ったら行く。
2. a : いつ、動物園^{どうぶつえん}に行^いくの。
b : 春休^{はるやす}みになったらね。
3. a : そと、あそびたいな。
b : かぜがなおったらね。
4. a : 一休^{ひとやす}みしませんか。
b : 窓^{まど}ふきが終^{おわ}ったらね。

II 想像^{そうぞう}してみましよう。

37

「もし、～たら」を使って、みなさんも何か想像^{そうぞう}してください。

1. もし、100万^{ひゃく まんえん}円^{えん}あったら、何をしますか。
2. もし、タイムマシン^のに乗^のれたら、未来^{みらい}へ行^いきますか、過去^{かこ}へ行^いきますか。

1. a : おとうさん！ 38
 b : なに。
 a : 新聞読み終わったら、たたんでよね。
2. a : 桜中学はこの辺ですか。 39
 b : ええ。この道をまっすぐ行って、
 a : はい、
 b : 突き当たったら左に行ってください。校門が見えますから。
3. a : さいふが落ちていたら、どうします？ 40
 b : 交番に届けますよ。あなたは？
 a : 拾って・・・金額を確かめますね。
 b : 大金だったら、どうします？
4. a : じゃあ、行ってきます。 41
 b : 気をつけてね。着いたら、すぐ電話ちょうだいよ。
 a : はいはい。
 b : おばさんに会ったら、ちゃんとあいさつして、おみやげわたすのを忘れないでね。
- 42
5. 課長 : こちら、こんど入社した加藤君。こちら、島田さん。
 加藤 : 加藤です。よろしくお願ひします。
 島田 : あ、こちらこそ。わからないことがあったら、なんでも聞いてくださいね。
 加藤 : ありがとうございます。

< 話したことを書きましょう >

(例)

夜、九時過ぎに、居酒屋に家族連れが来ていました。三歳ぐらいのこどもが
 いっしょでした。家族がいっしょに楽しむのはいいけれど、小さいこどもがおそくまで
 起きているのはよくないなと思いました。 (2章会話2より)